

令和6年度 第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時： 令和7年2月20日(木)

午前10時～11時

場 所： 教育プラザ研修棟3階 大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 令和7年度 事業計画・予算案について(40分)

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・令和7年度 社会教育の方針 | 資料No.1 |
| ・令和7年度 一般会計当初予算要求について | 資料No.2 |
| ・令和7年度 補助金交付事業計画(案) | 資料No.3 |

(2) 社会教育委員による事業訪問について(5分) 資料No.4

(3) その他 (10分)

- | | |
|--------------------------|--------|
| ・第46回全国公民館研究集会等の開催結果について | 資料No.5 |
| ・金谷地区公民館の供用開始について | 資料No.6 |

4 その他

5 閉 会

会議終了後に上社連についての報告等の情報交換会を行います。(30分程度)

【現状と課題】

- （多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実）
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題・同和問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
 - 関係課と連携し、令和8年度からの休日の部活動廃止に向けた部活動の地域移行の取組を進めていく必要がある。
- （家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成）
- 地域社会の連帯意識の希薄化等により、地域の教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境が大きく変化している。
 - 20の地域青少年育成会議では、各地域の状況に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革等による学校との関係や事業のあり方に課題が生じている地域もあることから、支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 高等学校や社会人となる段階など、若者が自立していく中でつまずきや不適応によって、不登校やひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、自立に向けた途切れのない支援活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）
- デジタル化の進展に伴い、より一層行政サービスの高度化が求められていることから、引き続き、所管施設のICT環境を整えておく必要がある。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - 公民館など所管する多くの施設は老朽化が進み、多額の経費負担が生じていることから、適切な維持管理や利用実態に合わせた管理の見直しを検討する必要がある。

【目指す姿】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPO等の民間団体の取組と連携し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 文化部活動の地域移行の取組を通じて、子どもと地域の文化・生涯学習団体が共に活動する環境づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育、同和教育を推進する。

【取組方向②】

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

- 家庭・地域・学校が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、公民館等と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後に困難を抱える若者の自立に向けた支援を進め、若者の居場所「Fit」の活用を中核とした若者及び保護者への支援の充実を図る。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を継続する。
- 施設の実態や利用状況を踏まえ、維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 公の施設の適正配置計画に基づく取組を進める。

【令和7年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育、同和教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・ふるさと上越の豊富な地域資源や人材を活用した謙信 KIDS プロジェクトの実施
 - 未来をひらく人づくり
 - ・地域の多様な文化芸術団体と連携した休日の活動の展開や地域クラブフェアの開催など、文化部活動の地域移行の取組推進と生涯学習活動の活性化
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・各地区公民館において、地域の課題解決の気づきとなるような講座を地域と連携して実施
 - 市民の主体的な学びの意欲・関心が高まるよう、公民館での多様な取組を通じた、人づくり、地域づくりの推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 3-1-1 人権・多様性の尊重、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進 プラン6 人権・多様性の尊重

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・各地区公民館において家庭教育支援講座や親子活動講座等を実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議の訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等のSNSや広報紙等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所「Fit」の周知と個に応じた支援の充実
 - ・「上越市親の会」の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理
 - ・社会教育活動の質の向上や、施設の利便性の向上のため、所管施設のインターネット環境を整備
 - ・利用者が安全に安心して利用できる適切な施設の維持管理運営の実施
 - ・上越科学館のより良い企画・展示の実施と管理運営
 - 施設の適正配置の取組推進
 - ・耐震規準を満たしておらず、老朽化が著しい諏訪地区公民館を廃校となる諏訪小学校内に移転整備
 - ・公の施設の適正配置計画により整理が必要な施設について、将来を見据えた協議の実施
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1 多様な学びの推進
- プラン3 多様な学びの推進

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日謙信交流館管理運営費	13,336	15,769	△2,433

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,665	需用費	5,007
財産収入	22	役務費	349
諸収入	49	委託料	7,684
一般財源	9,600	使用料及び賃借料	296

【目的】

地域住民が集い交流する場を提供することにより、にぎわいと活力ある地域社会の形成を図る。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、地域の交流の場となるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	春日山町三丁目1番60号
構造等	鉄骨造平屋建て 延床面積 878.58 m ²
施設内容	集会室、会議室、和室、調理室、情報コーナー、広場、その他附属施設
開館時間	午前8時30分～午後10時
休館日	12月29日～翌年1月3日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	28,435	32,449	△4,014

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	5,531	需用費	11,443
財産収入	38	役務費	178
諸収入	112	委託料	16,489
一般財源	22,754	使用料及び賃借料	325

【目的】

様々な世代が集い交流する場を提供することにより、地域活性化と住民の連帯感の醸成を図る。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、世代間の交流の場となるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

(1)八千浦交流館はまぐみ 26,183

所在地	大字下荒浜 982 番地 41
構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,540.87 m ²
施設内容	多目的ホール、浴場、休憩室、三世代交流ホール、学習室、調理室、多目的室、集会室、工作室、幼児遊戯室、その他附属設備
開館時間	浴場及び休憩室：午前 10 時～午後 9 時 その他の施設：午前 9 時～午後 9 時
休館日	毎月第 2 火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

(2)スポーツハウスはまぐみ 2,252

所在地	大字下荒浜 982 番地 38
構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,346.25 m ²
施設内容	体育室、休憩室、広場、その他附属設備
開館時間	午前 9 時～午後 9 時
休館日	毎月第 2 火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
青少年健全育成センター運営費	21,378	20,415	963

主な財源		主な経費	
繰入金	300	報酬	7,554
一般財源	21,078	職員手当等	1,708
		共済費	1,385
		旅費	367
		負担金補助及び交付金	
			9,632

○青少年育成支援事業 11,746

【目的】

青少年の健全な育成のために関係機関と連携し、非行やひきこもり等の青少年に関わる問題の解決・防止を図る。

【7年度目標】

- ・ 青少年の非行や防犯等に関する年 3 回の研修を通して青少年健全育成委員の資質向上を図り、また、愛の一声を中心とした街頭指導により青少年の問題行動等の未然防止に取り組む。
- ・ 若者の居場所「F i t」を中核とした活動の一層の充実を図り、ひきこもり等の様々な困難を抱える若者の自立を支援し、一歩前に歩み出すことができる若者を増やす。

【実施内容】

- ・ 通年実施の街頭指導や青色回転灯装備車両（青パト）による年間約 150 回の巡回指導のほか、警察関係者や高等学校と協力して年 2 回の特別街頭指導を実施する。
- ・ 有害図書類自動販売機等の現地確認調査を実施し、新潟県青少年健全育成条例に基づき指導する。
- ・ 若者の居場所「F i t」を中核とする相談・支援活動を実施する。
- ・ 関係機関との連携ネットワークを活用し、若者の支援活動を充実する。

○地域青少年育成会議活動支援 9,632

【目的】

地域青少年育成会議の活動を支援し、青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図る。

【7年度目標】

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を始めとする市内 20 の地域青少年育成会議関係者に対し、学校・家庭・地域の連携・協働に対する研修の機会を設ける。

【実施内容】

- ・ 地域青少年育成会議協議会への交付金の交付及び各地域青少年育成会議の活動に対する実務指導を通じて、各地域の活動を支援する。
- ・ 「地域の子どもは地域で育てる」という市民の意識醸成を図るため、広報紙の発行支援を行うとともに、実践事例発表会及び意見交換会や各育成会議の取組事例について周知する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
二十歳を祝うつどい運営事業	7,675	6,901	774

主な財源		主な経費	
一般財源	7,675	旅費	14
		需用費	1,883
		役務費	166
		委託料	5,612

○二十歳を祝うつどい 7,052

【目的】

大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。

【7年度目標】

- ・旧友との再会や式典への参加を通して、上越市で生まれ育ったことを改めて認識してもらうとともに、大人としての自覚と自立を促す機会とする。
- ・出席率：70%

【実施内容】

日時	令和7年4月5日（土）午後1時30分から
会場	リージョンプラザ上越インドアスタジアム
対象者	令和6年度中に満20歳を迎えた市民及び出身者（約1,840人）
内容	第1部「式典」（市主催） ・開式のことば ・国歌斉唱 ・激励のことば（市長） ・お祝いのことば（市議会議長） ・来賓紹介 ・代表スピーチ（参加者代表3人） 第2部「記念行事」（二十歳を祝うつどい実行委員会主催） ・対象者10人で構成する実行委員会が企画・実施する。

[新]○令和2年度に中止とした成人式の代替行事の開催 623

【目的】

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした成人式の対象者が参集する機会を提供し、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。

【7年度目標】

- ・対象者に対し、改めて祝意を示すとともに、旧友との再会や式典への参加を通して、上越市で生まれ育ったことを改めて認識してもらう。

【実施内容】

日 時	令和 7 年 8 月 16 日（土）午後 4 時 00 分から
会 場	上越文化会館大ホール
対 象 者	令和元年度中に満 20 歳を迎えた市民及び出身者（約 1,690 人）
内 容	第 1 部「式典」（市主催） ・開式のことば ・国歌斉唱 ・激励のことば（市長） ・お祝いのことば（市議会議長） ・来賓紹介 ・代表スピーチ（参加者代表 2 人程度） 第 2 部「アトラクション」（市主催） ・メイドイン上越を中心とした特産品が当たる抽選会を実施する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
社会同和教育活動事業	3,956	11,654	△7,698

主 　　な 　　財 　　源			主 　　な 　　経 　　費			
県支出金	40		報酬	220	需用費	1,347
諸収入	6		報償費	937	役務費	39
一般財源	3,910		旅費	298	委託料	1,051

○白山会館事業 770

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である「白山会館」を核とした各種事業を実施し、事業参加者から人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深めてもらう。

【7年度目標】

全ての市立小中学校（64校）が現地学習会を実施する。

【実施内容】

- ・市内外の教職員や行政職員等を対象に、人権・同和問題を学ぶ現地学習会を開催する。
- ・地域住民と関係者との交流事業を実施し、互いの理解をより一層深める。
- ・人権に関する図書、資料等を購入し、白山会館所蔵図書の充実を図るとともに、市ホームページで紹介し、利用希望者への貸出しを行う。

○小中学生学習会 529

【目的】

学習会を通して、学力の向上や仲間づくりを図る。

【7年度目標】

学校及び地域の協力を得て、対象児童及び生徒が安心して学習できる環境を整備する。

【実施内容】

- ・白山会館を会場に、地区及び地区出身の小中学生を対象とした学習会を実施する。
- ・対象児童及び生徒の人数と開催曜日
小学生：1人 毎週月曜日
中学生：3人 毎週月・水曜日

○白山会館管理運営 2,309

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に管理運営する。

【実施内容】

- 利用者が安全安心かつ快適に白山会館を利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・白山会館空調設備入替（978）

【目的】

人権を考える講話会や各機関・団体が主催する人権・同和問題に関する研修会へ講師を派遣し、市民が同和問題（部落差別問題）を始めとする人権問題に対して正しい理解と認識を深めるとともに、差別意識の払拭を図ることで、基本的人権が真に保障される地域社会の実現を目指す。

【7年度目標】

市内の16小学校区で人権を考える講話会を実施する。

【実施内容】

- ・市内各小学校区を単位として、保護者や地域住民に対して人権を考える講話会を開催する。全ての小学校区を3年間で一巡する計画で実施する（7巡目の2年度）。
- ・各機関・団体が主催する人権・同和問題に関する研修会の講師として、社会教育指導員を派遣する。
- ・人権・同和問題に関する各種研修会に白山会館運営委員や職員が参加し、人権意識の向上を図る。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
青少年教育活動事業	12,754	34,212	△21,458

主な財源		主な経費	
県支出金	2,391	報酬	1,742
財産収入	5,166	報償費	1,669
諸収入	1,024	委託料	1,982
		使用料及び賃借料	1,340
		負担金補助及び交付金	
			3,222

○地域学校協働本部事業 3,598

【目的】

地域で育てたい子ども像を学校と地域が話し合って共有し、互いに連携しながら地域の特色をいかした教育活動に取り組むなど、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの健全育成を推進する取組を支援する。

【7年度目標】

- ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図るため、地域と学校をつなぐ役割の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の活動を支援する。
- ・地域学校協働活動推進員の年間活動回数 950回

【実施内容】

- ・地域と学校の調整役として重要な役割を担っている地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の資質向上のため、新任者研修、実務者研修及び意見交換会を開催する。
- ・各地域青少年育成会議の活動状況や現状課題について情報収集や意見交換を行い、それぞれの地域に合った青少年の健全育成活動を推進する。

○謙信KIDSプロジェクト 6,190

【目的】

ふるさと上越の地域資源や人材をいかした魅力ある体験活動を通して、子どもたちの学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、グローバル社会に生きる力を育てる。

【7年度目標】

参加者の自己目標達成度：95%以上

【実施内容】

- ・市内の小学生を対象に、上越野菜について学ぶ「しょく」、越後の中心であった時代の城と武将について学ぶ「城と武将」、情報化社会において必要とされる技能を学ぶ「プログラミング（入門編・基礎編）」など、18講座23コースの体験活動を行う。
- ・講座に参加する子ども同士の交流活動を通じて、学校外の仲間づくりを推進する。

○各種団体補助金 1,639

【目的】

青少年の健全育成に関わる団体に補助金を交付し、活動の活性化を図ることにより、青少年の健全育成を推進する。

【7年度目標】

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会が行う事業を支援し、団体の自立を促すとともに、家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図る。
- ・子ども交流活動支援事業補助金について十分な周知を図り、利用の促進につなげる。

【実施内容】

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会補助金（1,355）
上越市小中学校PTA連絡協議会が行う事業を支援する。
- ・岩内町交流事業補助金（40）
上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業を支援する。
- ・子ども交流活動支援事業補助金（200）
町内会単位の子ども会や地区単位の子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議等が行う異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる活動を支援する。

○地域独自の予算事業 1,327

- ・すわっ子わくわく事業（諏訪区）（397）
子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、二貫寺の森での野外活動や各種体験教室等を実施する。
実施主体：すわっ子クラブ
- ・上雲寺小学校児童の地域お宝発見・地域住民ふれあい事業（津有区）（136）
児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、地域連携カレンダーを作成し配布する。
実施主体：上雲寺小学校最寄会
- ・青少年健全育成体験事業（牧区）（405）
子どもたちに、普段できない体験活動を通じた学びの場を提供するため、体験型イベント「わんぱく村」を開催する。
実施主体：特定非営利活動法人 牧振興会
- ・第8回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展（柿崎区）（389）
ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。
実施主体：手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会

※令和7年度のうち、一部の経費は10款5項1目の地域クラブ活動推進事業へ移行

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
社会教育指導員設置費	13,114	12,117	997

主な財源		主な経費	
一般財源 13,114		報酬 8,664	旅費 245
		職員手当等 2,228	使用料及び賃借料 40
		共済費 1,937	

【目的】

社会教育指導員を配置し、青少年教育や社会同和教育などの社会教育事業に携わる活動団体及び職員への指導や助言等を行い、社会教育の推進を図る。

【実施内容】

社会教育分野における事業の指導、助言等に従事する社会教育指導員を配置する。

- ・人数 4人

- ・担当事業

(1)青少年教育活動事業

謙信KIDSプロジェクト等の青少年教育に関する事業の企画・運営、改善に向けた指導・助言など

(2)社会同和教育事業

教職員等現地学習会や人権を考える講話会等の市民啓発活動や運営など

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
社会教育推進費	3,863	3,865	△2

主な財源		主な経費	
一般財源	3,863	報酬	270
		旅費	130
		需用費	10
		使用料及び賃借料	10
		負担金補助及び交付金	
			3,443

○社会教育委員 552

【目的】

社会教育委員による調査・研究や提言などを通して、当市における社会教育を推進する。

【実施内容】

社会教育委員による社会教育事業の評価や提言を事業に反映させる。

- ・職務 教育委員会が実施する各種社会教育事業への参画や調査・研究、各種研修会への参加等の幅広い活動を通して、社会教育に関する助言、提案等を行う。
- ・委員数 20人

※公民館における各種事業の企画実施に関し、必要に応じて調査審議する公民館運営審議会委員を兼任

○上越地区広域視聴覚教育協議会負担金 3,311

【目的】

視聴覚教育の発展と普及を目指した活動を行っている上越地区広域視聴覚教育協議会（構成市：上越市、糸魚川市、妙高市）の運営を支援する。

【実施内容】

上越市、糸魚川市及び妙高市の3市で設置している上越地区広域視聴覚教育協議会の円滑な運営及び視聴覚教育の振興を支援する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生涯学習推進事業	6,160	6,672	△512

主な財源		主な経費	
繰入金	26	報酬	3,429
一般財源	6,134	職員手当等	974
		共済費	826
		旅費	320
		役務費	194
		負担金補助及び交付金	309

○生涯学習関連業務 5,851

【目的】

学習機会や指導者等の情報を提供することにより、市民の自主的・自発的な学習活動を支援し、生涯にわたる学習活動の充実を図る。

【7年度目標】

- ・様々な分野で活動している団体や指導者の情報を収集し、市民に提供することで、市民の自主的、自発的な学習活動を支援する。
- ・出前講座の年間派遣回数：780回

【実施内容】

- ・成年年齢を迎える市民（18歳）に市からのメッセージはがきを送付し、新成人への祝意を示すとともに、郷土に対する誇りと愛着を感じてもらう。また、市が伝えたい事項を掲載したホームページへ誘導することで、成人としての自覚や責務を認識してもらう機会とする。
- ・市内で活動する団体・サークル、各種講座の指導者情報を収集し、市ホームページへの掲載や冊子の施設への設置を行い、広く市民に提供する。
- ・市政に関する説明責任を果たすとともに、市民の生涯学習に対する意欲を高めるため、市民が開催する講座や学習会等に市職員を講師として派遣する。

○上越市民芸能祭 200

【目的】

芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに、市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動に参加する機運を醸成する。

【7年度目標】

市民芸能祭（洋舞、民謡・民舞、合唱、古典芸能、フラダンス、よさこいの6部門）の開催を通じて、市民に芸能学習活動の成果を発表する場と多様な芸能に触れる機会を提供する。

【実施内容】

市内の芸能団体が日頃の活動成果を発表し、芸能を身近に感じ鑑賞する機会として、部門ごとに「つどい」を開催する。

部 門	開催日	会 場
洋舞	5 月 31 日（土）	上越文化会館
民謡・民舞	6 月 8 日（日）	リージョンプラザ上越
合唱	6 月 22 日（日）	上越文化会館
古典芸能	10 月 26 日（日）	リージョンプラザ上越
フラダンス	12 月 14 日（日）	上越文化会館
よさこい		

○地域独自の予算事業 109

・「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業（牧区）

仲間づくりやふれあいを大切にする気持ちを醸成し、文化活動実践者及び鑑賞者の裾野を広げるため、「生涯学び続けることの楽しさ」を伝える「夢まつり」を開催する。

実施主体：牧文化協会

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
美術展覧会事業	7,176	6,697	479

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	617	報酬	384
一般財源	6,559	需用費	1,205
		報償費	1,522
		委託料	3,311
		旅費	231
		負担金補助及び交付金	300

○新潟県美術展覧会上越展事業 1,192

【目的】

新潟県美術展覧会上越展の開催を通じて、市における美術・芸術文化の振興を図る。

【7年度目標】

- ・歴史と伝統を持つ県内最大の公募展である巡回展の開催を通じて、市民の美術・芸術活動への関心を高めるとともに、優れた美術・芸術文化に触れる機会を提供する。
- ・入場者数：1,890人

【実施内容】

第79回新潟県美術展覧会上越展を開催する。

会期	令和7年6月12日（木）～16日（月）
会場	教育プラザ体育館
主催	新潟日報社、新潟県、新潟県教育委員会、上越市教育委員会ほか

○上越市美術展覧会事業 5,984

【目的】

市民に美術・芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術・芸術文化の振興を図る。

【7年度目標】

- ・市民の美術への関心を高め、若年層を含めた出品者及び来場者の増加につなげる。
- ・出品者に対する新規出品者の割合：24.6%

【実施内容】

第54回上越市美術展覧会を開催する。

会期	令和7年10月5日（日）～13日（月・祝）
会場	高田城址公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町
入賞	市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞

- ・全国で活躍する作家や学識経験者等を審査員に迎え、日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸・グラフィックデザイン、書道、写真の6部門の入賞・入選作品を展示する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
上越清里星のふるさと館管理運営費	21,246	25,574	△4,328

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	1,635	報酬	7,343
諸収入	231	需用費	3,357
一般財源	19,380	委託料	2,592
		使用料及び賃借料	4,558
		負担金補助及び交付金	1,050

【目的】

- ・天体観測や天文に関する資料の展示等を通じて科学に触れ、学ぶ機会を提供する。
- ・体験学習の施設として、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。

【7年度目標】

- ・天体観測やプラネタリウムの上映、「櫛池の隕石」を中心とした展示等を通じて、天文への関心を高め生涯学習の振興と青少年の健全育成につなげる。
- ・入館者数：7,000人
(令和4年度：6,677人、令和5年度：6,446人、令和6年度：6,431人)

【実施内容】

- ・望遠鏡を使用した天体観測やプラネタリウムの利用者に向けた星の解説など、来館者が分かりやすく天文の知識を深められる取組を行う。
- ・県指定文化財「櫛池の隕石」について、9月に開催予定の隕石落下記念観望会で広く紹介する。
- ・幼児や小、中学生などのプラネタリウム利用に際しては、学びの段階に合わせた解説を行うとともに、上映番組のバリエーションを増やし利用者増につなげていく。
- ・季節や暦に合わせた観望会や出前講座などの事業を通じ、星や宇宙についての学びのきっかけづくりを行う。
- ・利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	清里区青柳 3436 番地 2
構造等	鉄骨・一部鉄筋コンクリート造 5 階建て 延床面積 770.77 m ²
施設内容	口径 650mm 天体望遠鏡、プラネタリウム 52 席、県指定文化財「櫛池の隕石」の展示
開館時間	午前 10 時～午後 5 時 土曜日及び 5・6・8・9・10 月の金曜日は、午後 10 時まで
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 1 日～翌年 3 月 31 日

○地域独自の予算事業 1,050

- ・スターフェスティバル 2025 及び天文教育普及事業（清里区）

郷土愛の醸成と交流人口の拡大を図るため、上越唯一の天文体験施設「上越清里星のふるさと館」を活用し、天文講演会や星空コンサート、天文工作教室等を行うスターフェスティバルを開催するほか、観望会の実施協力やリーフレットの制作等を実施する。

実施主体：天文指導協力員会

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ユートピアくびき管理運営費	63,456	58,242	5,214

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,707	報酬	22,463
財産収入	95	職員手当等	6,324
諸収入	46	共済費	5,093
		需用費	16,131
		委託料	7,230
		使用料及び賃借料	4,711

【目的】

多様な生涯学習活動の場を提供することにより、市民の文化・レクリエーション活動の振興を図り、魅力ある地域社会の形成に資するため、施設の維持管理を行う。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動や文化芸術活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

希望館

所在地	頸城区百間町 716 番地
構造等	鉄筋コンクリート造 4 階建て 延床面積 5,863.07 m ²
施設内容	ホール…多目的ホール、控室、音楽室 会議室…企画ルーム、第 1・第 2・第 3 会議室、第 1・第 2 研修室 機能室…生活工房 A・B、美術工芸室 保健棟…トレーニングルーム、機能回復室、健康相談室 福祉棟…無憂の間、和室、趣味の創作室等
開館時間	午前 9 時～午後 10 時
休館日	月曜日、休日の翌日、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

※希望館以外の体育施設については、体育施設管理運営費から支出

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
はーとびあ中郷管理運営費	125,634	26,029	99,605

主 な 財 源				主 な 経 費			
使用料及び手数料	803	市債	102,700	給料	2,202	需用費	8,589
財産収入	31	一般財源	22,069	職員手当等	719	委託料	13,791
諸収入	31			共済費	636	工事請負費	98,923

【目的】

市民の教養と文化の向上及び生涯学習の振興を図り、魅力ある地域社会の形成に資するため、施設の維持管理を行う。

【実施内容】

- ・利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動や文化芸術活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。
- ・空調設備の更新を行い、利用者の快適性を確保するとともに、空調設備の高効率化と二酸化炭素排出量の削減を図る。
- ・空調設備改修工事 102,762

区分	予算額	備考
委託料	3,839	施工監理委託
工事請負費	3,993	建築工事
	94,930	機械設備工事
合計	102,762	

※計画工期 令和7年6月～令和8年6月

<参考>施設の概要

所在地	中郷区二本木 1763 番地
構造等	鉄筋コンクリート造 3 階建て一部 2 階建て 延床面積 2,846.30 m ²
施設内容	学習棟…研修室、創作室、学習室、和室等 ホール棟…ホール、楽屋、レッスン室 車庫棟…陶芸工房、陶芸作業室
開館時間	午前 9 時～午後 10 時（午後 7 時以降は予約状況に応じて閉館）
休館日	月曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生涯学習センター管理運営費	25,217	24,211	1,006

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	148	報酬	7,168
諸収入	657	委託料	6,111
一般財源	24,412	共済費	1,583
		使用料及び賃借料	867
		需用費	6,525
		工事請負費	289

【目的】

地域における生涯学習及び生涯スポーツを推進し、生活文化の振興と健康増進を図るため、地域生涯学習センターの管理運営を行う。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動や文化活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

施設名	所在地	構造等	主な施設内容	開館時間・休館日
中 川	安塚区坊金 1066 番地 2	鉄筋コンクリート造 延床面積 1,229.0 m ²	会議室、研修室、 ふれあい交流室	午前 8 時 30 分 ～午後 10 時 休館日：なし
伏 野	安塚区真萩平 2793 番地	鉄筋コンクリート造 延床面積 376.0 m ²	調理実習室、研 修室	
菱 里	安塚区円平坊 941 番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 2,800.0 m ²	体育館、会議室、 視聴覚室	
須 川	安塚区須川 9005 番地	鉄骨造 延床面積 545.0 m ²	体育館	
大 島	大島区仁上 5607 番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 700.77 m ²	ゲートボールコ ート、研修室	
吉川旭	吉川区梶 257 番地 2	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 676.0 m ²	体育館	
源	吉川区山直海 801 番地 1	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 1,989.0 m ²	会議室、工作室、 体育館	
片 貝	中郷区片貝 92 番地 2	鉄骨造 延床面積 794.34 m ²	体育館	
櫛 池	清里区棚田 525 番地 1	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 2,604.57 m ²	体育館、会議室	
不 動	名立区瀬戸 722 番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート 造、木造 延床面積 1,422.0 m ²	体育館、会議室、 ふれあいルーム	

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費	601	583	18

主 　　 財 　　 源			主 　　 経 　　 費			
使用料及び手数料	224		報償費	69	委託料	180
諸収入	28		需用費	319	使用料及び賃借料	21
一般財源	349		役務費	9	負担金補助及び交付金	3

【目的】

集会、学習、レクリエーション活動などの多目的な活動の場を提供し、地域住民の生活文化の向上に寄与するため、施設の管理運営を行う。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、生活文化の向上に資するよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	柿崎区金谷 428 番地 1
構造等	木造 2 階建て 延床面積 242.58 m ²
施設内容	会議室（大会議室、小会議室）、集会室、調理実習室
開館時間	午前 8 時 30 分～午後 10 時
休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
上越科学館管理運営費	109,242	71,668	37,574

主な財源		主な経費	
繰入金	40,700	需用費	1,748
一般財源	68,542	委託料	105,649
		使用料及び賃借料	1,845

【目的】

市民の自然科学に関する教養を高め、市民の文化向上に寄与するため、上越科学館の管理運営を行う。

【7年度目標】

- ・上越地域の科学教育の拠点施設として来館者が学びを深めることができるよう、様々な体験や情報、サービスを提供する。
- ・年間利用者：95,000人
(令和4年度：61,841人、令和5年度：70,500人、令和6年度見込み：91,395人)

【実施内容】

- ・指定管理者が有する知見や専門性をいかして、質の高い事業及びサービスを提供するとともに、施設・設備の適切な管理運営を行う。

[充]・子どもたちの化学への興味を醸成するため、企業版ふるさと納税による寄附金を活用して、元素や化合物を学びながら化学に触れる展示物を新たに導入する。

○指定管理者による管理

団体名	新東産業株式会社
所在地	東京都渋谷区東一丁目26番20号
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
事業内容	自然観察教室、科学工作教室、サイエンスショー、発明工夫・模型・工作展、標本作品展、特別展、出前授業、体験教室など

<参考>施設の概要

所在地	下門前446番地2
構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積4,351㎡
展示等	「人間の科学」と「雪の科学」を基本テーマとした9つのゾーンからなり、常設展示物のほか、低温実験室、実験工作室などの設備を有する。
開館時間	午前9時～午後5時(夏期特別展期間中は閉館時間を変更する場合あり)
休館日	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、12月29日～翌年1月1日
入館料	未就学児童 無料、小中学生310円(230円)、一般620円(460円) ※()内は団体(20人以上)料金 年間入館券は、小中学生780円、一般1,550円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館事業	96,695	90,378	6,317

主な財源		主な経費	
財産収入	276	報酬	54,755
諸収入	1,323	職員手当等	15,845
一般財源	95,096	共済費	13,209
		報償費	5,156
		旅費	2,180
		需用費	2,476

○公民館事業 95,532

【目的】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」を社会教育の目指す姿とし、学びを通じた人づくり、地域づくりを図る。

【7年度目標】

実施内容に掲げる①学びのきっかけづくり、②未来をひらく人づくり、③人をはぐくむ家庭環境づくり、④地域や社会の課題を踏まえた地域づくりに該当する 230 事業の受講者延べ人数：10,626 人

(令和4年度：10,064 人、令和5年度：8,796 人、令和6年度見込み：10,078 人)

【実施内容】

(1)全体概要

公民館で行う事業等を次の 5 つに分類するとともに、全ての地区公民館で①から④に該当する事業を実施する。

①学びのきっかけづくり

誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる。

「スマホの活用法」、「エネルギー講座」、「ノルディックウォーキング教室」など 80 事業を行う。

②未来をひらく人づくり

地域での学びや地域との関わりを通じて、主体的に学ぶことの楽しさや喜びを知り、子どもたちのチャレンジ精神とふるさとへの愛着を育てる。

「子ども体験教室」、「自然探検」、「スキー教室」など 64 事業を行う。

③人をはぐくむ家庭環境づくり

家庭、学校、地域が連携し、ともに学び、子どものすこやかな育ちを支える。

「家庭教育支援講座」、「親子読み聞かせ講座」、「ベビーマッサージ講座」など 32 事業を行う。

④地域や社会の課題を踏まえた地域づくり

地域課題や現代課題を学び、課題解決に向けた意識を高めることにより、豊かな地域社会づくりにつなげる。

「ふるさと未来づくり事業」、「人権・同和問題講座」、「地域の魅力発信講座」など 54 事業を行う。

⑤行動する人への支援

芸術・文化に親しむ場の提供や、意欲を持って行動する人・団体を支援することにより、持続可能な活動と未来への学びの輪をつなげる。

「生涯学習フェスティバル」、「地域スポーツ大会」など 128 事業の活動支援を行う。

(2)重点事業

少子高齢化や核家族化など地域コミュニティの希薄化による地域力の低下といった地域・現代課題に対応するため、以下の事業に重点的に取り組む。

事業名	概 要
ふるさと未来づくり事業	様々な地域課題等の現状を捉え、地域の活動団体等とも連携しながら、実情に応じた課題解決の手法を培い、地域づくりにつながる行動の輪を広げる。

○公民館図書室事業 1, 163

【目的】

地域の拠点である公民館で身近に本を手にとることができる機会を提供するとともに、利用団体等の活動に役立つよう、図書資料の充実を図る。

【実施内容】

- ・ 公民館利用者や利用団体等の意見や要望を参考に、図書の新規購入、配架を行う。
- ・ 公民館事業を経て活動する自主グループや地域活動団体が活用できるよう、公民館事業の内容や地域づくりに関連した図書資料の充実を図り、地域住民が公民館で図書に親しむ機会を提供する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館施設整備事業	11,825	552,654	△540,829

主な財源		主な経費	
一般財源	11,825	委託料	11,825

【目的】

老朽化が進んでいる諏訪地区公民館について、令和8年4月に開校予定の学びの多様化学校の整備に合わせて移転準備を進める。

【7年度目標】

新たな諏訪地区公民館の整備に向け、必要となる改修設計業務を令和7年度末までに完了する。

【実施内容】

諏訪地区公民館設計業務委託料 11,825

- ・現諏訪地区公民館の機能の維持を基本とし、閉校する諏訪小学校の1階部分に移転整備するための設計業務委託を行う。

(今後の予定)

令和7年度 設計業務委託

令和8年度 改修工事

令和9年度 移転・供用開始

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館管理運営費	194,190	201,061	△6,871

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	6,334	市債	25,600
財産収入	95	一般財源	160,984
諸収入	1,177		

報酬	27,909	委託料	52,190
給料	13,275	使用料及び賃借料	5,966
需用費	37,785	工事請負費	31,341

【目的】

市民の生涯学習の推進及び地域活動の活性化を促すため、公民館の適切な管理運営を行う。

【実施内容】

地域住民が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動が促進されるよう、適切な管理運営を行う。

(事業費内訳)

地区名	事業費	項目				
		報酬及び給料	需用費	委託料	工事請負費	その他
合併前 上越市	84,895	18,674	18,003	25,807	7,775	14,636
浦川原区	2,087	0	904	1,116	0	67
大島区	8,558	3,284	1,612	1,818	0	1,844
牧区	289	0	41	0	0	248
柿崎区	19,527	3,860	5,829	6,326	312	3,200
大潟区	24,780	2,352	1,146	3,819	15,840	1,623
頸城区	7,763	1,704	1,682	683	0	3,694
吉川区	6,023	3,333	1,114	335	0	1,241
板倉区	17,984	2,202	2,713	4,131	7,414	1,524
三和区	8,039	3,510	2,103	491	0	1,935
名立区	14,245	2,265	2,638	7,664	0	1,678
合計	194,190	41,184	37,785	52,190	31,341	31,690

※安塚区（コミュニティプラザ）、中郷区（はーとぴあ中郷）及び清里区（総合事務所）は、（ ）内の併設施設に予算を計上

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ管理運営費	46,290	46,235	55

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	13,531	一般財源	31,647
財産収入	1,056	報償費	80
諸収入	56	需用費	17,017
		役務費	707
		委託料	27,512
		使用料及び賃借料	974

【目的】

多くの市民が集い、語らい、交流する場として、充実した活動を行うことができるよう、施設の適切な管理運営を行う。

【実施内容】

市民が快適に施設を利用できるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	本城町8番1号
構造等	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造3階建て 延床面積 5,004.49 m ²
施設内容	・ホール施設…ホール、スタジオ、練習室1・2・3、楽屋1・2・3、団体活動室 ・集会学習施設…研修室、会議室、多目的室、陶芸室、創作室、調理実習室、和室1・2 ・こどもセンター ・中庭、共用部、広場
開館時間	・ホール：午前9時～午後10時 ・こどもセンター：午前8時30分～午後5時 ・その他の施設：午前8時30分～午後10時
休館日	第2・第4火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日

令和7年度 補助金交付事業計画（案）

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
公民館係 (浦川原区)	生涯学習フェスティバル補助金	手作りの小さな文化祭	生涯学習の推進や参加者同士の交流を図るため、大島区・浦川原区・安塚区で文化活動に取り組んでいる個人や団体による作品展示と芸能発表を実施する。	244,000	新規事業
公民館係 (大潟区)	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	大潟区出身の小山作之助を顕彰するとともに、音楽財産を後世に残すため、音楽祭を実施する。	250,000	
公民館係 (頸城区)	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	生涯学習に対する理解や学習意欲を高めるため、頸城区で活動を行う市民を中心に、学習成果を展示・発表する音楽発表会や作品展を実施する。また、体験学習（ワークショップ）やブックリサイクルも実施する。	311,000	
公民館係 (吉川区)	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行うため、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
公民館係 (中郷区)	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル	地域で活動する個人や団体の活動内容を広く地域住民に知ってもらうことにより生涯学習に取り組む意欲を高めるため、作品展、体験教室、音楽芸能発表を行う。	150,000	
公民館係 (板倉区)	生涯学習フェスティバル補助金	板倉ふれあいまつり実行委員会	板倉区住民の生涯学習を推進し、学習の成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、文化展をはじめとした各種イベントを開催・運営する。	80,000	

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
公民館係 (清里区)	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区住民の生涯学習を推進し、学習成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、地域で活動する団体や個人の作品展示や体験教室を実施する。	95,000	
公民館係 (三和区)	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域住民の連携を深め、地域の活性化を図るため、地域で活動する人たちの日頃の学習の成果発表の場として、作品展示、芸能発表会や体験教室等を実施する。	250,000	
公民館係 (清里区)	地域独自の予算事業補助金	スターフェスティバル2025 及び天文教育普及事業 実施主体：天文指導協力員会	上越一の天文体験施設をいかして、天文教育の普及を図るため、観望会の実施協力のほか、スターフェスティバルを開催し、天文講演会や星空コンサート、天文工作教室等を実施する。	1,050,000	
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研修会等の事業を支援する。	1,355,000	上限額
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体）	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	200,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係	岩内町交流 事業補助金	上越市子ども 会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	40,000	上限額
生涯学習係	地域独自の 予算事業補助金	すわっ子わく わく事業 実施主体： すわっ子クラブ	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、二貫寺の森での野外活動や各種体験教室等を実施する。	397,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補助金	上雲寺小学校 児童の地域お 宝発見・地域 住民ふれあい 事業 実施主体： 上雲寺小学校 最寄会	児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、地域連携カレンダーを作成し配布する。	136,000	
生涯学習係 (柿崎区)	地域独自の 予算事業補助金	第8回手しごと・手づくり 柿崎・上越作品展 実施主体： 手しごと・手 づくり柿崎・ 上越作品展実行委員会	ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。	389,000	
生涯学習係 (牧区)	地域独自の 予算事業補助金	青少年健全育 成体験事業 実施主体： 特定非営利活動法人牧振興会	子どもたちに、普段できない体験活動を通じた学びの場を提供するため、体験型イベント「わんぱく村」を開催する。	405,000	

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係 (牧区)	地域独自の 予算事業補助金	「うたって・ おどって・み て」楽しい暮 らしを応援事 業 実施主体： 牧文化協会	仲間づくりやふれあいを大切にする気持ちを醸成し、文化活動実践者及び鑑賞者の裾野を広げるため、「生涯学び続けることの楽しさ」を伝える「夢まつり」を開催する。	109,000	

令和 6 年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど）対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】裏面「令和 6 年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後 1 ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和 6 年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22 円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和6年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか		
2	講座全体の雰囲気		
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)		
4	全体を通しての感想及び意見（自由記述欄）		

※ 評価 (◎：とてもよい ○：おおむねよい △：改善する点がある ×：改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】

〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話：545-9245、FAX：545-9272
 メール：shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

	事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価						今後の対応など
							※評 価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						
							目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢		
評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント							
1	見つけて伝える直江津のステキ【直江津地区公民館事業】	これまで実施してきた「見つけて伝える直江津のステキ」を他地区との行き来を通して交流しながら行うことにより、ふるさとの新たな魅力発見・発信の機会とする。	R6.8.6(火)	直江津学びの交流館	直江津祇園祭の歴史などを学び、改めて祇園祭について理解を深めた。	16	◎	・1/5回だが、スムーズに講座内容に入ることができて良かった。 ・知っているようで知らない事の多さを実感して参加者をひき付ける内容だった。	○	静かに講師のお話や、スライドを見ながら聞いていた。	○	話の中に知っている事柄が出てくると、うなずきあったり自分の知ってる事柄を話したりで興味深く聴いている様子だった。 ・講師の先生は大変博識でおられ、次から次へお話が流れていくようですが、余りにあちこちに話が飛ぶとついていくのが大変な様子に感じました。 ・新旧の地名や地図の位置をプリント等で配布していただけると理解しやすいかと思います。特に直江津地区以外の方はなかなかわかりにくいと思いますし、今後、中郷区にいかれて直江津のステキをお話するのでしたらなおさらかと思います。・この講座だけではないのですが、参加者の固定化が感じられます。広く多くの市民に参加していただく為の周知方法などを検討していくことが大切だと思います。 ・以前より、祇園祭について子供たちに知って欲しいと思っていますが、来年度は子供向けの講座を実際の祇園祭が開催される前の時期に開いて頂き、多くの子供たちに町を盛り上げるようになって頂けたらと願っております。	・直江津地区以外から参加されている受講者にもわかりやすい説明や資料作成(新旧地図など)について、講師と事前協議を重ねていきたい。 ・参加者の固定化を防ぐため、新テーマの発掘に努めたい。 ・また地元小学校と連携した講座内容も検討していきたい。
2	女性学級【吉川地区公民館事業】	火炎土器(馬高遺跡)と火焰型土器(十日町市)の違いや信濃川が地域に与えた影響等を学ぶ。	R6.9.8(日)	十日町市	十日町市博物館に提示されている「国宝・火焰型土器」等の出土品の説明(座学)や漁労に大きく依存していた縄文人の独特な文化を学んだ。また、縄文時代中期の集落跡「笹山遺跡」で縄文人の住まいを見学した。	21	◎	・縄文文化を探るという目的に対して、去年のパートⅠは火焰土器、今年は火焰式土器が多く展示されている十日町市博物館と出土した笹山遺跡の見学とお話をきくという流れがよかった。	◎	女性講座は5回で内容が様々、座学、体験、現地研修があり、その4回目。常に和気あいあいな感じだった。行き帰りのバスの中も楽しく大人の修学旅行であった。	◎	・年代が同じくらいの50代から70代くらいまで。4回目となると、皆さん顔見知りな感じで楽しく参加されていた。 ・熱心に見学したり質問したりしている姿が見られた。 ・内容が幅広く、それぞれどの時にも参加者が楽しく参加していただろうと今回参加して感じた。子育てが終わって時間的にも余裕がある年代が参加していたと思われる。他の世代にはどのようにアプローチしていけるかも、以降考えていただけたら、と感じた。 ・この日の講座は縄文入門パートⅡで、新潟県在住であれば知っているという良い内容。昨年からの流れがいいので、来年度をどのように企画していくか期待したい。	・今後も幅広い世代から参加いただけるよう、社会・地域実情を配慮した土・日曜日開催を続けていきたい。 ・また、若い世代の参加者獲得に向け、事業ニーズ(見えない声)を把握(意向調査)する方法について、公民館運営委員会等で検討したい。 ・次年度事業は計画中だが、人気事業は継続し、市民の学びの深まりが習慣化されるよう支えていきたい。

第46回全国公民館研究集会 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会 第74回新潟県公民館大会 の開催結果について

- 日 時 令和6年11月7日(木)、8日(金)
 ○主 催 公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会、新潟県公民館連合会、上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会
 ○主 管 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会実行委員会
 ○参加者 529人(全国11都県)、うち新潟県の参加者328人(上越市114人)
 ○日程および会場

第1日目	全体会	上越文化会館
11:00～11:30	新潟県公民館大会	
13:00～14:20	アトラクション(高田馨女唄演奏:小竹勇生山社中) 開会行事、表彰式	
14:20～16:15	基調講演「公民館のチカラ」 講師:千葉大学名誉教授 長澤 成次氏 トークセッション「私からつくる私たちの未来の公民館」 長澤成次さん、角野仁美さん、司山園美さん	
16:15～16:30	閉会行事	
情報交換会		デュオ・セレッソ
18:30～20:30	アトラクション(おもてなし武将隊による演武) 地酒によるおもてなし、上越産の新米4種食べ比べ	



開会行事・表彰式



基調講演



トークセッション

第2日目	分科会 9:30～12:10	
第1分科会「ICTと公民館」		直江津学びの交流館
第2分科会「人口減少社会における公民館」		春日謙信交流館
第3分科会「学校と公民館」		上越文化会館
第4分科会「これからの公民館」		リージョンプラザ上越
第5分科会「ひとづくり・地域づくりと公民館」		オーレンプラザ
フィルムフォーラム・映画「公民館」14:00～15:00		オーレンプラザ
解説：千葉大学名誉教授 長澤 成次氏		

(参加者の声)

- ・これからの公民館のあり方を示唆する、すばらしい内容でした。
- ・公民館を愛し、公民館活動で人をつくり、地域をつくっていかうとする方が、こんなに多くいるのが嬉しくなりました。
- ・こんなに素晴らしいおもてなしをしていただき、参加して良かったと思いました。
- ・上越市をはじめとした新潟県の皆さんの社会教育への熱意が伝わってきました。



分科会の様子(春日謙信交流館)

金谷地区公民館の供用開始について

金谷区に移転を進めてきた金谷地区公民館について、整備が完了したことから、次のとおり供用を開始します。

○ 供用開始日

令和7年3月15日（土）

※3月15日（土）は竣工式及び地元向け内覧会、16日（日）は一般向け内覧会を実施、施設予約者の利用開始日は17日（月）から

※施設利用は3月3日（月）より予約受付開始

○ 施設の概要等

項 目	内 容	
所 在 地	上越市大貫二丁目17番50号	
敷地面積	3,909.83 m ²	
建築面積	730.60 m ²	
延床面積	683.05 m ²	
構 造	鉄骨造 平屋建	
駐車台数	43台（普通車40台、思いやり駐車場3台）	
諸 室 等	集会室（1、2）	集会室1（60人）、集会室2（40人） 2室を合わせると100人規模の会議が可能
	和室（1、2）	和室1（15畳）、和室2（10畳）
	会議室	8人程度までの少人数の会議が可能
	調理実習室	調理台4台、テラスからも出入り可能
	ホワイエ	地域産材の机・椅子なども配置した市民交流スペースで、テラス部分と一体化して多様なイベントの開催が可能
	テラス	雁木をイメージした ^{ひさし} 庇により、軒下を縁側のような空間とした屋外多目的スペース
	その他	事務室、ベビーコーナー、WC 等
そ の 他	・3.68kwの太陽光発電設備の導入 ・ホワイエ内装には、地域産材（上越市大島区中野産など）を活用	

（参考）各部屋の使用料

施 設 名	使用料（1時間につき）	施 設 名	使用料（1時間につき）
集 会 室 1	510 円	和 室 1	170 円
集 会 室 2	420 円	和 室 2	120 円
会 議 室	120 円	調理実習室	310 円

○ 工事概要

建築工事、機械設備工事、電気設備工事、施工監理委託

- ・受注者：久保田・田中共同企業体（久保田建設(株)、田中産業(株)、北陸工業(株)、
株城東電工
- ・設計・管理：エーシーエ設計
- ・契約額：5億3,382万2千円
- ・工事期間：令和6年3月22日～令和7年1月31日

○ 今後のスケジュール

日 時		内 容
3月 1日（土）		現 金谷地区公民館利用休止
3月 3日（月）		新 金谷地区公民館予約受付開始
3月 15日（土）	午後1時～ （1時間程度）	竣工式（オープニングセレモニー） ※下記に内容（予定）記載
	午後2時30分～ 午後5時00分	地元向け内覧会
3月 16日（日）	終日	一般向け内覧会
3月 17日（月）	午前8時30分～ 午後10時まで	施設の利用開始

○ 竣工式（オープニングセレモニー）の内容（予定）

日 時	3月 15日（土） 午後1時～（1時間程度）
参集者	市長、教育長、市議会議長、市議会関係議員、市教育委員、地元関係者（金谷地区町内会長協議会、関係町内会、金谷区地域協議会等）等
式 典	・式辞（市長） ・祝辞（市議会議長、金谷地区振興協議会長） ・地域からの記念品の寄贈及び感謝状の贈呈 ・テープカット ・開館アトラクション

【平面図】

